

評 價 結 果

- ・一般国道286号支倉道路改良事業
- ・出来川総合流域防災事業
- ・洞堀川総合流域防災事業

評価結果

		作成年月日	令和7年11月18日	
事業担当課		道路課		
事業名	一般国道286号 支倉道路改良事業	補助・交付金・単独の別	交付金	事業主体 宮城県
施工地名	柴田郡川崎町大字支倉地内	【位置図後掲】	管理主体	宮城県
根拠法令	道路法第56条、第74条			

事業の概要	事業目的																							
	<p>一般国道286号は、宮城県仙台市青葉区を起点とし、柴田郡川崎町を経由し、山形県山形市に至る延長約65km（うち宮城県内延長約34km）の幹線道路であり、第1次緊急輸送道路に指定されている。</p> <p>当該工区は、急峻な地形に沿った道路であり、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来しているため、バイパスによる線形改良により、安全で円滑な交通の確保を図るものである。</p>																							
	事業内容																							
	<p>※計画幅員は“W=車道幅員（全幅）”を表しています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 20%;">事業着手時 (平成28年度)</td> <td colspan="2">【計画概要】</td> </tr> <tr> <td>延長 道路幅員 道路規格 設計速度</td> <td>L=1.3km W=6.5(12.0)m 3種2級 60km/h</td> </tr> <tr> <td>再評価時 (令和7年度)</td> <td colspan="2">同上</td></tr> </table>		事業着手時 (平成28年度)	【計画概要】		延長 道路幅員 道路規格 設計速度	L=1.3km W=6.5(12.0)m 3種2級 60km/h	再評価時 (令和7年度)	同上															
事業着手時 (平成28年度)	【計画概要】																							
	延長 道路幅員 道路規格 設計速度	L=1.3km W=6.5(12.0)m 3種2級 60km/h																						
再評価時 (令和7年度)	同上																							
<p>【事業内容の変更状況とその要因】</p> <p>特になし</p>																								
事業費																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>内用地費及び補償費</th> <th>国 [50 %]</th> <th>県 [50 %]</th> <th>市町村 [- %]</th> <th>その他 [- %]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業着手時 (平成28年度)</td> <td>39.6億円</td> <td>0.9億円</td> <td>19.8億円</td> <td>19.8億円</td> <td>-億円</td> </tr> <tr> <td>再評価時 (令和7年度)</td> <td>55.7億円</td> <td>0.9億円</td> <td>27.85億円</td> <td>27.85億円</td> <td>-億円</td> </tr> </tbody> </table>			全体事業費	費用負担内訳				内用地費及び補償費	国 [50 %]	県 [50 %]	市町村 [- %]	その他 [- %]	事業着手時 (平成28年度)	39.6億円	0.9億円	19.8億円	19.8億円	-億円	再評価時 (令和7年度)	55.7億円	0.9億円	27.85億円	27.85億円	-億円
	全体事業費			費用負担内訳																				
		内用地費及び補償費	国 [50 %]	県 [50 %]	市町村 [- %]	その他 [- %]																		
事業着手時 (平成28年度)	39.6億円	0.9億円	19.8億円	19.8億円	-億円																			
再評価時 (令和7年度)	55.7億円	0.9億円	27.85億円	27.85億円	-億円																			
<p>※事業費増加度(重点評価実施基準 指標4)</p> <p>= (再評価時事業費 - 事業着手時事業費) / 事業着手時事業費 = 40.7%</p>																								
<p>【事業費の変更状況とその要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価変動や消費税率改定などに伴う増額 ・現場条件の変更に伴う増額（施工時に発生した岩塊等の破碎・運搬処理の増工） 																								

事業概要	○事業費増減対照表											
	事業着手時 (平成 28 年度)		再評価時 (令和 7 年度)		増減		変更の 主な理由					
	事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費						
	本工事費	93.7% 37.1 億円		94.8 % 52.8 億円	—	97.5% +15.7 億円						
	道路改良工	L=1.3km	26.0 億円	L=1.3km	36.0 億円	—	+10.0 億円 ・物価変動、消費税率改定等に伴う増					
	橋梁工	2 橋	11.1 億円	2 橋	16.8 億円	—	+5.7 億円 ・物価変動、消費税率改定に伴う増 ・現場条件の変更に伴う増					
	測量及び試験費	一式	4.0% 1.6 億円	一式	3.6% 2.0 億円	—	2.5% +0.4 億円 ・物価変動、消費税率改定に伴う増					
	用地費及び補償費	一式	2.3% 0.9 億円	一式	1.6% 0.9 億円	—	0% 0.0 億円					
	合計	一式	100% 39.6 億円	一式	100% 55.7 億円	—	100.0% +16.1 億円					
	事業の進捗状況	規則第 24 条第 1 号関係										
○事業期間												
事業の概要	事業着手時 (平成 28 年度)			再評価時 (令和 7 年度)								
	事業採択年度	H. 28 年度		事業採択年度	H. 28 年度							
	用地買収着手年度	R. 元年度		用地買収着手年度	R. 元年度							
	工事着手年度	R. 2 年度		工事着手年度	R. 2 年度							
	計画変更実施年度	-		計画変更実施年度	-							
	完成予定年度	R. 11 年度		完成予定年度	R. 11 年度							
※事業停滞年数(重点評価実施基準指標 1)= 0 年												
※事業工期延伸度(重点評価実施基準指標 3) =(変更後予定期間)/(当初予定期間)= 14 / 14 =1.00												
○進捗率												
要	令和 6 年度までの ※():前回再評価時											
	事業費	進捗率	内用地費	進捗率								
※事業工程乖離度(重点評価基準指標 2) =(累加投資事業費/現全体事業費)-(累加年単純割額/現全体事業費) =(19.8 / 55.7)-((55.7 / 14) × 9 / 55.7) =(35.5)%-(64.3)% = ▲28.8%												
【事業の進捗状況(順調でない場合にはその要因)】												
<ul style="list-style-type: none"> 用地の一部区間において、国有保安林があり、令和 4 年 9 月 9 日に保安林指定の解除を実施し、整備に必要な用地については全て完了した。 (仮) 3 号橋梁下部工が令和 4 年度に完成し、令和 5 年度から (仮) 3 号橋梁上部工に着手し、令和 7 年度の工事完成に向けて工事を進めている なお、今後着手を予定している、全体事業費に占める割合が大きいトンネル工事や(仮) 2 号橋梁工事があるため、事業費ベースの進捗率は上記のとおりとなっているが、事業工程については計画どおり進捗しており、順調である。 												

事 業 の 概 要	<p>【今後の進捗の見込み(事業スケジュール表後掲)】</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮) 2号トンネルについては、令和8年度から令和10年度にかけて、掘削工事や舗装工事等を実施する予定。 (仮) 2号橋梁については、令和10年度から令和11年度にかけて、下部工工事や上部工工事を実施し、令和11年度の供用を目標に工事を進めていく。 				
業 の 概 要	<p>施設管理の予定・管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業区間の道路施設は宮城県が管理することになる。 県土を支える社会資本の持続可能な維持管理・更新を行うため、AI等の新技術を活用した効率的な維持管理に努めていく。 なお、平成13年度から全県的に推進しているアドプトプログラム「みやぎスマイルロード・プログラム」※を活用し、清掃や緑化等の美化活動に努めていく。 <p>※「みやぎスマイルロード・プログラム」 道路美化等のボランティア活動に意欲を持つ地域住民や企業を「スマイルサポーター」に認定し、スマイルサポーター・地元市町村・宮城県（道路管理者）の三者のパートナーシップにより、県管理道路の一定区間の清掃や美化活動、歩道の除雪などを実施する制度。</p> <p>※当該事業と一連で施工している仙台市施行分については、今後仙台市が管理することとなる。</p>				
事 業 の 必 要	<p>上位計画等</p> <ul style="list-style-type: none"> 新・宮城の将来ビジョン：令和2年12月策定 土木・建築行政推進計画（2021～2030）アクションプラン（前期）：令和3年1月策定 土木・建築行政推進計画（2021～2030）アクションプラン（中期）：令和7年3月策定 宮城の道づくり基本計画：令和3年3月策定 宮城の道づくり基本計画：令和7年3月改訂 <p>当該箇所は、宮城の道づくり基本計画において、基本目標「災害に強い道づくり」を達成するための取り組み「災害に強い道路網の構築」として位置付けられている。</p> <p>また、基本目標「富県躍進を支える道づくり」を達成するための取り組み「地域の発展を支え、地域間連携を強化する道路の整備」としても位置付けられている。</p>				
業 の 必 要	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="244 1242 657 1298">事業を巡る社会経済情勢等</td> <td data-bbox="657 1242 975 1298">規則第24条2号関係</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="244 1298 1373 1837"> <p>○社会経済情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況交通量 現道R3センサス 交通量9,330台/日 本路線は、災害対策基本法に基づき、宮城県防災会議が策定した宮城県地域防災計画において第1次緊急輸送道路として指定されており、県内で被災があった際には、本路線を介して被災地への物資輸送等に利用されるなど、災害時の緊急輸送道路として重要な役割を果たしている。 国道286号は宮城県と山形県を結び東北地方南部における東西主要幹線軸を構築する重要な路線となっており、当該工区においては、川崎町と仙台市の行政界に位置し、仙南圏域の地域間交流の要所となっている。 <p>○地元情勢、地元の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該工区は、急峻な地形に沿った道路となっており、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来している。 本事業が完成することで、幅員狭隘、線形不良が解消され、安全で円滑な交通が確保されるため、地元関係者から早期完成の期待が寄せられており、事業効果の早期発現に向けて、引き続き事業を推進していく。 <p>平成26年度～令和7年度 宮城県町村会 「国道286号碁石から赤石までの道路整備の早期完了」の要望 平成30年9月～令和6年9月 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 「国道286号（赤石～碁石間）バイパス整備の早期完成」の要望 平成30年8月 宮城県県南サミット（県南4市9町長会議） 「一般国道286号整備の早期完成について」の要望</p> </td> </tr> </table>	事業を巡る社会経済情勢等	規則第24条2号関係	<p>○社会経済情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況交通量 現道R3センサス 交通量9,330台/日 本路線は、災害対策基本法に基づき、宮城県防災会議が策定した宮城県地域防災計画において第1次緊急輸送道路として指定されており、県内で被災があった際には、本路線を介して被災地への物資輸送等に利用されるなど、災害時の緊急輸送道路として重要な役割を果たしている。 国道286号は宮城県と山形県を結び東北地方南部における東西主要幹線軸を構築する重要な路線となっており、当該工区においては、川崎町と仙台市の行政界に位置し、仙南圏域の地域間交流の要所となっている。 <p>○地元情勢、地元の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該工区は、急峻な地形に沿った道路となっており、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来している。 本事業が完成することで、幅員狭隘、線形不良が解消され、安全で円滑な交通が確保されるため、地元関係者から早期完成の期待が寄せられており、事業効果の早期発現に向けて、引き続き事業を推進していく。 <p>平成26年度～令和7年度 宮城県町村会 「国道286号碁石から赤石までの道路整備の早期完了」の要望 平成30年9月～令和6年9月 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 「国道286号（赤石～碁石間）バイパス整備の早期完成」の要望 平成30年8月 宮城県県南サミット（県南4市9町長会議） 「一般国道286号整備の早期完成について」の要望</p>	
事業を巡る社会経済情勢等	規則第24条2号関係				
<p>○社会経済情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況交通量 現道R3センサス 交通量9,330台/日 本路線は、災害対策基本法に基づき、宮城県防災会議が策定した宮城県地域防災計画において第1次緊急輸送道路として指定されており、県内で被災があった際には、本路線を介して被災地への物資輸送等に利用されるなど、災害時の緊急輸送道路として重要な役割を果たしている。 国道286号は宮城県と山形県を結び東北地方南部における東西主要幹線軸を構築する重要な路線となっており、当該工区においては、川崎町と仙台市の行政界に位置し、仙南圏域の地域間交流の要所となっている。 <p>○地元情勢、地元の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該工区は、急峻な地形に沿った道路となっており、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来している。 本事業が完成することで、幅員狭隘、線形不良が解消され、安全で円滑な交通が確保されるため、地元関係者から早期完成の期待が寄せられており、事業効果の早期発現に向けて、引き続き事業を推進していく。 <p>平成26年度～令和7年度 宮城県町村会 「国道286号碁石から赤石までの道路整備の早期完了」の要望 平成30年9月～令和6年9月 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 「国道286号（赤石～碁石間）バイパス整備の早期完成」の要望 平成30年8月 宮城県県南サミット（県南4市9町長会議） 「一般国道286号整備の早期完成について」の要望</p>					
事 業 の 概 要	<p>【今後の進捗の見込み(事業スケジュール表後掲)】</p> <ul style="list-style-type: none"> (仮) 2号トンネルについては、令和8年度から令和10年度にかけて、掘削工事や舗装工事等を実施する予定。 (仮) 2号橋梁については、令和10年度から令和11年度にかけて、下部工工事や上部工工事を実施し、令和11年度の供用を目標に工事を進めていく。 				
業 の 概 要	<p>施設管理の予定・管理状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業区間の道路施設は宮城県が管理することになる。 県土を支える社会資本の持続可能な維持管理・更新を行うため、AI等の新技術を活用した効率的な維持管理に努めていく。 なお、平成13年度から全県的に推進しているアドプトプログラム「みやぎスマイルロード・プログラム」※を活用し、清掃や緑化等の美化活動に努めていく。 <p>※「みやぎスマイルロード・プログラム」 道路美化等のボランティア活動に意欲を持つ地域住民や企業を「スマイルサポーター」に認定し、スマイルサポーター・地元市町村・宮城県（道路管理者）の三者のパートナーシップにより、県管理道路の一定区間の清掃や美化活動、歩道の除雪などを実施する制度。</p> <p>※当該事業と一連で施工している仙台市施行分については、今後仙台市が管理することとなる。</p>				
事 業 の 必 要	<p>上位計画等</p> <ul style="list-style-type: none"> 新・宮城の将来ビジョン：令和2年12月策定 土木・建築行政推進計画（2021～2030）アクションプラン（前期）：令和3年1月策定 土木・建築行政推進計画（2021～2030）アクションプラン（中期）：令和7年3月策定 宮城の道づくり基本計画：令和3年3月策定 宮城の道づくり基本計画：令和7年3月改訂 <p>当該箇所は、宮城の道づくり基本計画において、基本目標「災害に強い道づくり」を達成するための取り組み「災害に強い道路網の構築」として位置付けられている。</p> <p>また、基本目標「富県躍進を支える道づくり」を達成するための取り組み「地域の発展を支え、地域間連携を強化する道路の整備」としても位置付けられている。</p>				
業 の 必 要	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="244 1242 657 1298">事業を巡る社会経済情勢等</td> <td data-bbox="657 1242 975 1298">規則第24条2号関係</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="244 1298 1373 1837"> <p>○社会経済情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況交通量 現道R3センサス 交通量9,330台/日 本路線は、災害対策基本法に基づき、宮城県防災会議が策定した宮城県地域防災計画において第1次緊急輸送道路として指定されており、県内で被災があった際には、本路線を介して被災地への物資輸送等に利用されるなど、災害時の緊急輸送道路として重要な役割を果たしている。 国道286号は宮城県と山形県を結び東北地方南部における東西主要幹線軸を構築する重要な路線となっており、当該工区においては、川崎町と仙台市の行政界に位置し、仙南圏域の地域間交流の要所となっている。 <p>○地元情勢、地元の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該工区は、急峻な地形に沿った道路となっており、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来している。 本事業が完成することで、幅員狭隘、線形不良が解消され、安全で円滑な交通が確保されるため、地元関係者から早期完成の期待が寄せられており、事業効果の早期発現に向けて、引き続き事業を推進していく。 <p>平成26年度～令和7年度 宮城県町村会 「国道286号碁石から赤石までの道路整備の早期完了」の要望 平成30年9月～令和6年9月 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 「国道286号（赤石～碁石間）バイパス整備の早期完成」の要望 平成30年8月 宮城県県南サミット（県南4市9町長会議） 「一般国道286号整備の早期完成について」の要望</p> </td> </tr> </table>	事業を巡る社会経済情勢等	規則第24条2号関係	<p>○社会経済情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況交通量 現道R3センサス 交通量9,330台/日 本路線は、災害対策基本法に基づき、宮城県防災会議が策定した宮城県地域防災計画において第1次緊急輸送道路として指定されており、県内で被災があった際には、本路線を介して被災地への物資輸送等に利用されるなど、災害時の緊急輸送道路として重要な役割を果たしている。 国道286号は宮城県と山形県を結び東北地方南部における東西主要幹線軸を構築する重要な路線となっており、当該工区においては、川崎町と仙台市の行政界に位置し、仙南圏域の地域間交流の要所となっている。 <p>○地元情勢、地元の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該工区は、急峻な地形に沿った道路となっており、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来している。 本事業が完成することで、幅員狭隘、線形不良が解消され、安全で円滑な交通が確保されるため、地元関係者から早期完成の期待が寄せられており、事業効果の早期発現に向けて、引き続き事業を推進していく。 <p>平成26年度～令和7年度 宮城県町村会 「国道286号碁石から赤石までの道路整備の早期完了」の要望 平成30年9月～令和6年9月 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 「国道286号（赤石～碁石間）バイパス整備の早期完成」の要望 平成30年8月 宮城県県南サミット（県南4市9町長会議） 「一般国道286号整備の早期完成について」の要望</p>	
事業を巡る社会経済情勢等	規則第24条2号関係				
<p>○社会経済情勢</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況交通量 現道R3センサス 交通量9,330台/日 本路線は、災害対策基本法に基づき、宮城県防災会議が策定した宮城県地域防災計画において第1次緊急輸送道路として指定されており、県内で被災があった際には、本路線を介して被災地への物資輸送等に利用されるなど、災害時の緊急輸送道路として重要な役割を果たしている。 国道286号は宮城県と山形県を結び東北地方南部における東西主要幹線軸を構築する重要な路線となっており、当該工区においては、川崎町と仙台市の行政界に位置し、仙南圏域の地域間交流の要所となっている。 <p>○地元情勢、地元の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該工区は、急峻な地形に沿った道路となっており、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来している。 本事業が完成することで、幅員狭隘、線形不良が解消され、安全で円滑な交通が確保されるため、地元関係者から早期完成の期待が寄せられており、事業効果の早期発現に向けて、引き続き事業を推進していく。 <p>平成26年度～令和7年度 宮城県町村会 「国道286号碁石から赤石までの道路整備の早期完了」の要望 平成30年9月～令和6年9月 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 「国道286号（赤石～碁石間）バイパス整備の早期完成」の要望 平成30年8月 宮城県県南サミット（県南4市9町長会議） 「一般国道286号整備の早期完成について」の要望</p>					

事 業 の 有 効 性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">事業効果</td><td></td></tr> </table> <p>○効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点で供用している箇所が無いため、整備効果の発現には至っていない。 <p>○想定される事業効果</p> <p>(1) 車両通行の安全確保【交通事故減少便益】 幅員狭隘かつ線形不良箇所が解消され、道路利用者の安全で安心な自動車交通が確保される。</p> <p>(2) 緊急輸送道路としての機能強化 大型車等の安全なすれ違いが可能となるため、災害発生時における緊急輸送道路としての機能強化が期待される。</p> <p>(3) 安全で安心な暮らしと利便性向上【走行時間短縮便益、走行経費減少便益】 バイパス整備による円滑な自動車交通が確保され、幅員狭隘、線形不良区間が解消されるため、通過時間の短縮が図られることから、仙南圏域の地域間交流の更なる活性化が期待される。（走行時間は3.3分短縮される。） また、冬期の積雪や夏期の大雨時においては、当該事業区間がネックとなり、代替ルートとしての機能を十分果たしていない状況となっていることから、本事業が完成されることにより、仙山交流と広域通行の安心・安全に大きな効果をもたらすことが期待される。 加えて周辺の住民からは、国営みちのく杜の湖畔公園があり、休日には来園者車両による走行速度の低下が発生しているとの声が上がっている。本事業によりバイパスが整備されることで走行環境が改善されるため、これらの速度低下の緩和が期待される。</p> <p>(4) 防災機能の向上 バイパスを整備することで、現道に隣接した地すべりや土石流の警戒区域の崩壊による通行止めのリスクが解消され、防災機能の向上が期待される。</p> <p>(5) 広域道路ネットワークの強化 山形自動車道が通行止めになった際に、国道286号が迂回路として機能することとなるため、本事業の整備により、東北地方南部のリダンダンシー※が確保され、信頼性の高い広域道路ネットワークが構築される。</p> <p>※リダンダンシー 「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化する等、予備の手段が用意されている様な性質を示す。（国土交通省HPより引用）</p> <p>(6) 救急医療の安定化 本事業の整備により、走行時間が短縮し、救急医療施設への搬送時間も短縮されることで、救命効果の向上など、救急医療体制の安定化が期待される。</p> <p>(7) 環境への配慮 本事業の整備により、車両の走行時間が短縮され、CO₂排出量の削減が期待される。</p>	事業効果	
事業効果			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">関連事業の概要・進捗状況等</td> <td></td> </tr> </table> <p>○近接道路改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道286号（南赤石工区）道路事業（仙台市施行分） L=約1.4km（事業実施中） 	関連事業の概要・進捗状況等		
関連事業の概要・進捗状況等			
事 業 の 効 率 性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">代替案との比較検討</td> <td>規則第24条第3号関係</td> </tr> </table> <p>・事業着手時において、複数案で比較検討を実施しており、経済性等の観点から評価し、最も優位となる案を選定した現計画が最良であり、代替案はない。</p>	代替案との比較検討	規則第24条第3号関係
代替案との比較検討	規則第24条第3号関係		

事業の効率性	コスト縮減計画 規則第 24 条第 4 号関係																																																
	以下の項目でコスト縮減を図っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・再生資源の積極的な活用 道路改良工事に使用する碎石、アスファルト合材について、再生資材を積極的に活用することにより、コスト縮減を図っていく。 ・現場発生材の有効利用 本工事のトンネル掘削に伴い工事間で調整がつかない建設発生土については、民間の建設発生土受入れ先の公募も含め検討することで、資源の有効活用や工事のコスト削減を図っていく。 																																																
環境への影響と対策	費用対効果 規則第 24 条第 5 号関係																																																
	根拠マニュアル：費用便益分析マニュアル（国土交通省 道路局 都市局 令和 7 年版） 社会的割引率：4% 便益算定期間：50 年間 （単位：億円）（ただし、B/C の単位は除く。）																																																
地域指定状況等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">区分</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">事業着手時 基準年 (平成 28 年度)</th> <th colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">再評価時 基準年 (令和 7 年度)</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">全体</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">全体</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">費用項目</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">建設費</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">114.25</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">46.82</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">便益項目</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">維持管理費</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">6.49</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">6.49</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">総費用</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">120.75</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">53.32</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">現在価値(C)</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">119.75</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">45.27</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">323.62</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">323.62</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">走行経費減少便益</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">14.76</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">14.76</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">交通事故減少便益</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">0.26</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">0.26</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">総便益</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">338.63</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">338.63</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">現在価値(B)</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">128.84</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">128.84</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;"></td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">費用便益比(B/C)</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1.08</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">2.85</td> </tr> </tbody> </table>		区分	事業着手時 基準年 (平成 28 年度)	再評価時 基準年 (令和 7 年度)		全体	全体	残事業	費用項目	建設費	114.25	46.82	便益項目	維持管理費	6.49	6.49		総費用	120.75	53.32		現在価値(C)	119.75	45.27		走行時間短縮便益	323.62	323.62		走行経費減少便益	14.76	14.76		交通事故減少便益	0.26	0.26		総便益	338.63	338.63		現在価値(B)	128.84	128.84		費用便益比(B/C)	1.08	2.85
	区分	事業着手時 基準年 (平成 28 年度)		再評価時 基準年 (令和 7 年度)																																													
全体		全体	残事業																																														
費用項目	建設費	114.25	46.82																																														
便益項目	維持管理費	6.49	6.49																																														
	総費用	120.75	53.32																																														
	現在価値(C)	119.75	45.27																																														
	走行時間短縮便益	323.62	323.62																																														
	走行経費減少便益	14.76	14.76																																														
	交通事故減少便益	0.26	0.26																																														
	総便益	338.63	338.63																																														
	現在価値(B)	128.84	128.84																																														
	費用便益比(B/C)	1.08	2.85																																														
影響と対策	※事業着手の前年度に行う事業箇所評価が震災以降休止していたため、事業着手時の B/C は算出していない。 ※当該事業は仙台市施行分と一連の事業となっており、費用対効果算出時の費用については、仙台市施行分を含めた費用で算出している。																																																
	【便益の概要、主な算出根拠】 計画交通量（令和 22 年推定）11,000 台／日 ※便益発生年 令和 12 年度 ※算出便益 「走行時間短縮便益」：道路の整備の有無による総走行時間費用の差で表す便益 「走行経費減少便益」：道路の整備による走行経費（燃料費や車両償却費等の走行条件により改善される経費）の差で表す便益 「交通事故減少便益」：道路の整備の有無による社会的損失（交通事故による人的、物的損失等）の差で表す便益																																																

	<ul style="list-style-type: none"> 当該地区は宮城環境影響評価要綱で定められた対象事業に該当しないが、当該事業にかかる周辺の地域環境及び自然環境への影響について、平成26年2月から平成27年1月にかけて道路環境調査を実施し、事業実施による環境への影響を調査している。 結果として、鳥類のハヤブサ、ミサゴの繁殖が確認されているが、低騒音振動重機を利用し、動物の生態系に影響を与えないように配慮している。 また、両生類や陸上昆虫類については、当該事業の実施により、環境を大きく改変する計画ではない為、事業の影響は軽微であると考えている。 		
総合評価	<table border="1"> <tr> <td>対応方針</td></tr> <tr> <td>事業継続</td></tr> </table>	対応方針	事業継続
対応方針			
事業継続			

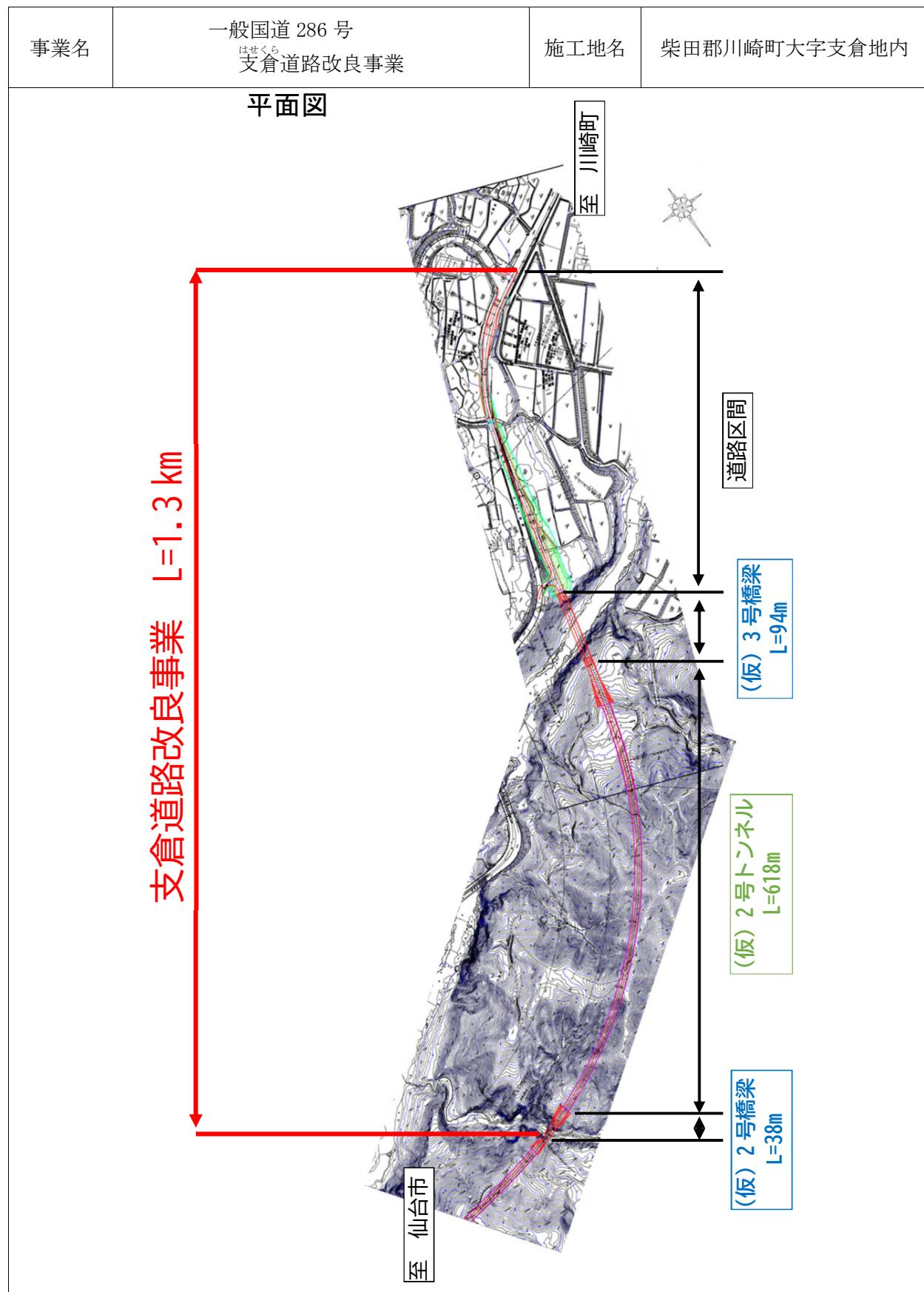
事業スケジュール表	年 度													
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
	調査設計													
	用地補償													
	工事													

: 事業着手時
: 再評価時

位 置 図

○国道286号 支倉道路改良事業

事業概要図

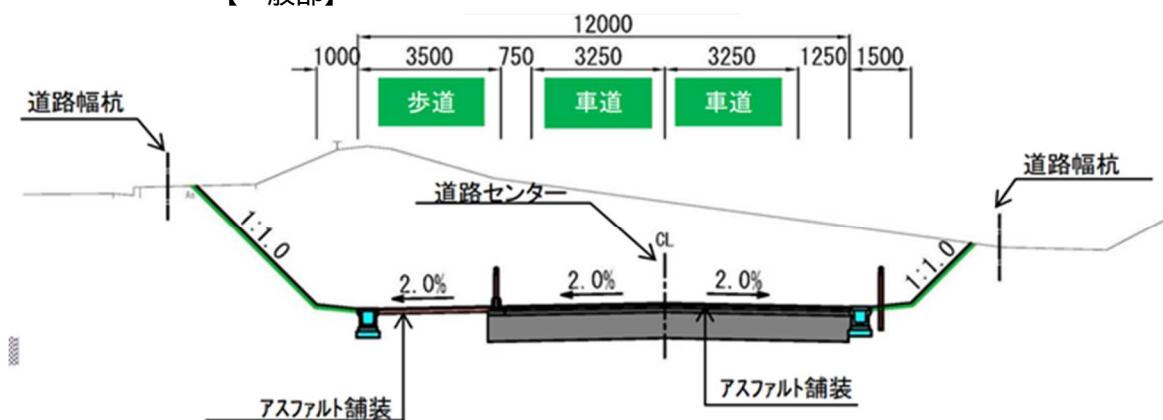


事業概要図

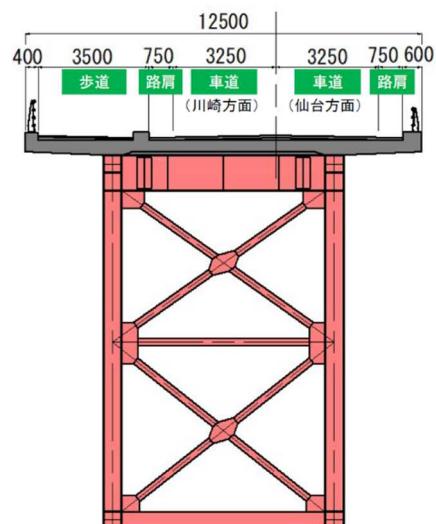
事業名	一般国道 286 号 支倉道路改良事業	施工地名	柴田郡川崎町大字支倉地内
-----	------------------------	------	--------------

標準横断図

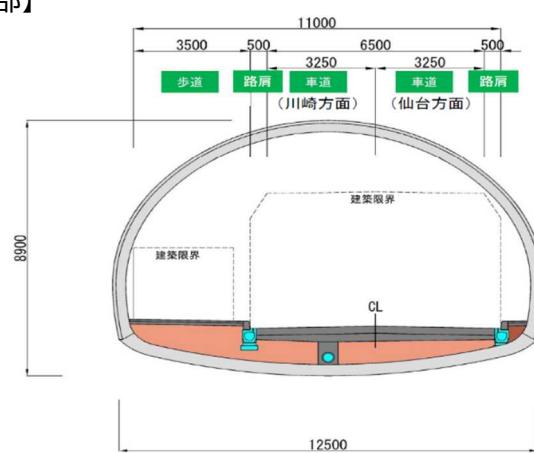
【一般部】



【橋梁部】



【トンネル部】



事業施行状況等

事業名	一般国道286号 支倉道路改良事業	施工地名	柴田郡川崎町大字支倉地内
-----	----------------------	------	--------------

施工状況写真（代表箇所）



施工状況 ((仮) 3号橋梁架設)



施工状況（支倉台入口交差点部）

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・その他の別
国道286号	支倉工区	L=2.70km		B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,000	2	宮城県

① 費 用

	事 業 費	維持管理費	更新費	合 計
基 準 年	令和7年度			
単純合計	114.25億円	6.49億円	0.00億円	120.75億円
うち残事業分	46.82億円	6.49億円	0.00億円	53.32億円
基準年における現在価値 (C)	117.37億円	2.38億円	0.00億円	119.75億円
うち残事業分	42.88億円	2.38億円	0.00億円	45.27億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和7年度			
供 用 年	令和12年度			
単年便益 (初年便益)	7.08億円	0.28億円	0.01億円	7.37億円
基準年における現在価値 (B)	123.33億円	5.41億円	0.10億円	128.84億円
うち残事業分	123.33億円	5.41億円	0.10億円	128.84億円

③ 結 果

(参考資料 4)

【事業全体】

費用便益比 (B/C)	1.08 [4%]	[参考] 1.66 [2%]	[参考] 2.12 [1%]
経済的純現在価値 (B-C)	9 億円 [4%]	[参考] 79.5 億円 [2%]	[参考] 136 億円 [1%]
経済的内部收益率 (EIRR)	4.4%		

※ [] 内は社会的割引率

【残事業】

費用便益比 (B/C)	2.85 [4%]	[参考] 4.22 [2%]	[参考] 5.29 [1%]
経済的純現在価値 (B-C)	83.6 億円 [4%]	[参考] 153 億円 [2%]	[参考] 209 億円 [1%]
経済的内部收益率 (EIRR)	12.0%		

※ [] 内は社会的割引率

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：国道286号（支倉工区）

(推計時点 R22 年)

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 (バイパス等) L=2.70km	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	11,000
	走行時間 ^{※2}	[分]	0.0	3.8
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	9.05
②主な周辺道路 ^{※4}	【現道】 国道286号 支倉工区 L=2.70km	交通量	[台/日]	9,100
	走行時間	[分]	7.1	0.0
	走行時間費用	[億円/年]	14.15	0.00
	東北縦貫自動車道 (菅生PA～仙台南IC間) L=7.20km	交通量	[台/日]	46,700
	走行時間	[分]	7.6	7.6
	走行時間費用	[億円/年]	87.93	87.10
	(主)岩沼 蔵王線 L=1.61km	交通量	[台/日]	7,600
	走行時間	[分]	2.4	2.3
	走行時間費用	[億円/年]	4.14	3.79
(一)秋保 温泉川崎線 L=5.00km	交通量	[台/日]	1,600	1,000
	走行時間	[分]	7.5	7.5
	走行時間費用	[億円/年]	2.23	1.39
(一)秋保 温泉愛子線 L=5.07km	交通量	[台/日]	6,600	6,400
	走行時間	[分]	9.7	9.6
	走行時間費用	[億円/年]	12.45	11.95
③その他道路合計	走行時間費用	[億円/年]	13,650.45	13,651.04

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：5,591.57km	走行時間短縮便益	[億円/年]	13,771.36	13,764.32	7.03

※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

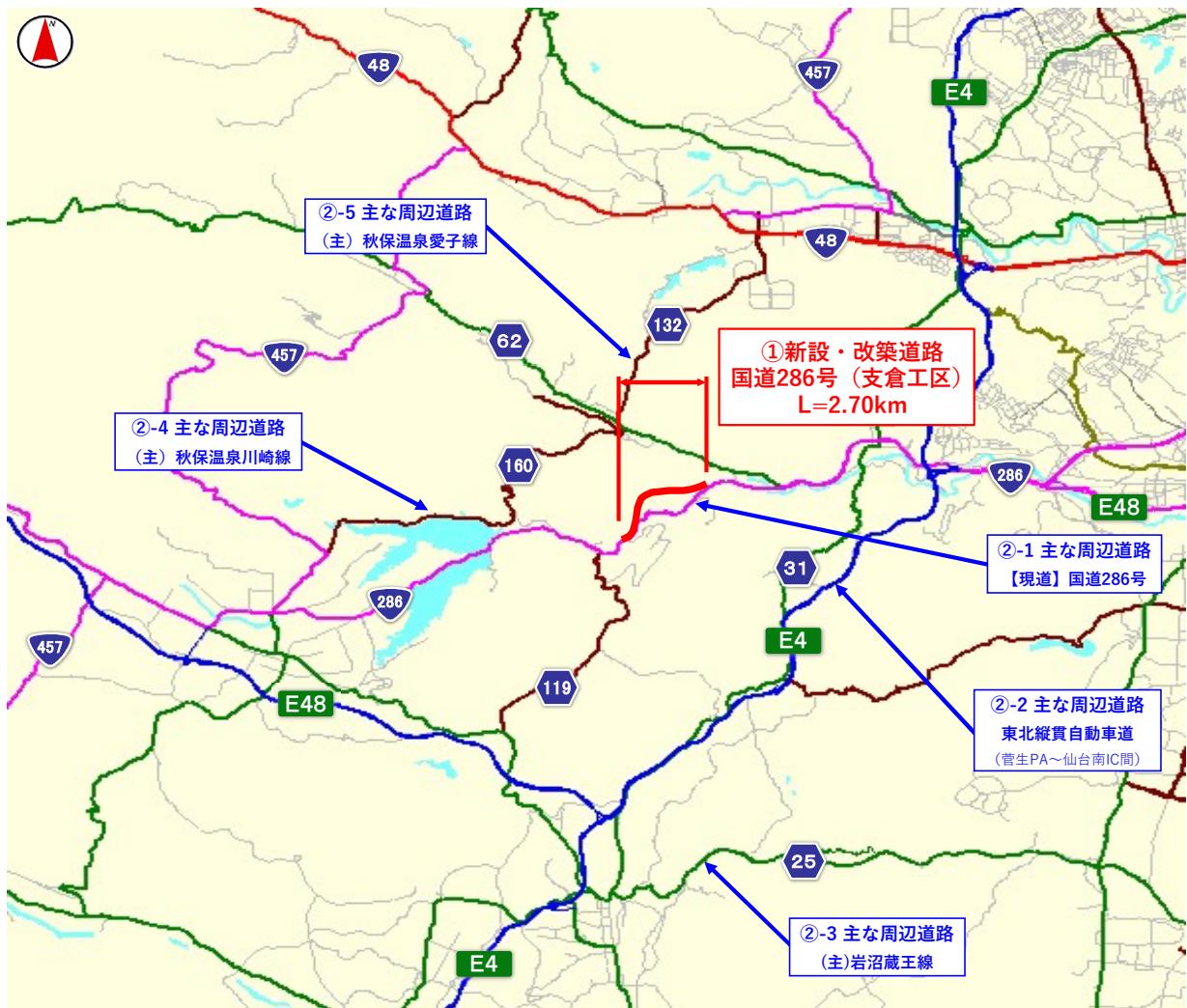
※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：国道286号(支倉工区)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和7年8月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	令和7年度
交通流の推計	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載
	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/>
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
	有の場合のみ	考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他()	<input type="checkbox"/>
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けて設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量($Q_{max} \sim Q_{min}$)以上の路線、交通容量($Q_{min} \sim Q_{max}$)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
速度設定の考え方	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ
		面的に考慮 <input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮 <input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 <input type="checkbox"/> () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載
	災害等による通行止めの影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ
		採用した通行止め日数 <input type="checkbox"/> () 日 採用した通行止め日数の考え方を記載
		とり止め交通を考慮する <input type="checkbox"/> とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
	冬期交通の影響	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する <input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ
		採用した冬期日数 <input type="checkbox"/> () 日 採用した冬期日数の考え方を記載
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 <input checked="" type="checkbox"/>
		その他 <input type="checkbox"/> ()
		費用便益分析マニュアルの値を使用 <input checked="" type="checkbox"/> 独自に設定した値を使用 <input type="checkbox"/> 算出根拠を添付すること
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用 <input checked="" type="checkbox"/> 独自に設定した値を使用 <input type="checkbox"/> 算出根拠を添付すること
		費用便益分析マニュアルの値を使用 <input checked="" type="checkbox"/> 独自に設定した値を使用 <input type="checkbox"/> 算出根拠を添付すること
		中央分離帯の有無を考慮 <input checked="" type="checkbox"/> 中央分離帯の有無を考慮しない <input type="checkbox"/>
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない <input checked="" type="checkbox"/> 考慮する <input type="checkbox"/> (考慮の場合、算出根拠を添付すること)
		その他

(4)

項目		チェック欄
費用の算定	事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細事業計画による値を採用 <input type="checkbox"/> 標準投資パターンを採用 <input type="checkbox"/> その他())
	維持管理費	<input type="checkbox"/> 維持管理費の設定根拠を記載 <input type="checkbox"/> 宮城県の維持管理費実績に基づき算出
	更新費	<input type="checkbox"/> 更新費の設定根拠を記載 <input type="checkbox"/> 更新対象なしのため考慮しない
	雪寒費	<input type="checkbox"/> 積雪地域または寒冷地域である
	当該道路整備が 行われない場合 の費用	<input checked="" type="checkbox"/> 考慮しない <input type="checkbox"/> 考慮する
		<input type="checkbox"/> 事業費を考慮 <input type="checkbox"/> 維持管理費を考慮 <input type="checkbox"/> 当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)
	その他	
	4. その他	
	上記のほか、B／Cの算定にあたっての問題点があれば、記述。	
.....		

費用の現在価値算定表

箇所名: 国道286号(支倉工区)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.053	2.70	0.14

年次	年度	社会的割引率	割戻率	GDP テーブル	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
－14年目	H 28	4%	1.4233	100.2	0.583	0.89				
－13年目	H 29	4%	1.3686	100.5	1.972	2.88				
－12年目	H 30	4%	1.3159	100.4	3.065	4.30				
－11年目	R 1	4%	1.2653	101.2	0.959	1.28				
－10年目	R 2	4%	1.2167	101.9	1.694	2.17				
－9年目	R 3	4%	1.1699	101.8	5.128	6.31				
－8年目	R 4	4%	1.1249	102.7	6.070	7.12				
－7年目	R 5	4%	1.0816	107.1	9.886	10.69				
－6年目	R 6	4%	1.0400	107.1	19.321	20.09				
－5年目	R 7	4%	1.0000	107.1	18.754	18.75				
－4年目	R 8	4%	0.9615	107.1	12.896	12.40				
－3年目	R 9	4%	0.9246	107.1	23.129	21.38				
－2年目	R 10	4%	0.8890	107.1	8.981	7.98				
－1年目	R 11	4%	0.8548	107.1	1.816	1.55				
供用開始年次	R 12	4%	0.8219	107.1			0.13	0.11		
1年目	R 13	4%	0.7903	107.1			0.13	0.10		
2年目	R 14	4%	0.7599	107.1			0.13	0.10		
3年目	R 15	4%	0.7307	107.1			0.13	0.09		
4年目	R 16	4%	0.7026	107.1			0.13	0.09		
5年目	R 17	4%	0.6756	107.1			0.13	0.09		
6年目	R 18	4%	0.6496	107.1			0.13	0.08		
7年目	R 19	4%	0.6246	107.1			0.13	0.08		
8年目	R 20	4%	0.6006	107.1			0.13	0.08		
9年目	R 21	4%	0.5775	107.1			0.13	0.07		
10年目	R 22	4%	0.5553	107.1			0.13	0.07		
11年目	R 23	4%	0.5339	107.1			0.13	0.07		
12年目	R 24	4%	0.5134	107.1			0.13	0.07		
13年目	R 25	4%	0.4936	107.1			0.13	0.06		
14年目	R 26	4%	0.4746	107.1			0.13	0.06		
15年目	R 27	4%	0.4564	107.1			0.13	0.06		
16年目	R 28	4%	0.4388	107.1			0.13	0.06		
17年目	R 29	4%	0.4220	107.1			0.13	0.05		
18年目	R 30	4%	0.4057	107.1			0.13	0.05		
19年目	R 31	4%	0.3901	107.1			0.13	0.05		
20年目	R 32	4%	0.3751	107.1			0.13	0.05		
21年目	R 33	4%	0.3607	107.1			0.13	0.05		
22年目	R 34	4%	0.3468	107.1			0.13	0.05		
23年目	R 35	4%	0.3335	107.1			0.13	0.04		
24年目	R 36	4%	0.3207	107.1			0.13	0.04		
25年目	R 37	4%	0.3083	107.1			0.13	0.04		
26年目	R 38	4%	0.2965	107.1			0.13	0.04		
27年目	R 39	4%	0.2851	107.1			0.13	0.04		
28年目	R 40	4%	0.2741	107.1			0.13	0.04		
29年目	R 41	4%	0.2636	107.1			0.13	0.03		
30年目	R 42	4%	0.2534	107.1			0.13	0.03		
31年目	R 43	4%	0.2437	107.1			0.13	0.03		
32年目	R 44	4%	0.2343	107.1			0.13	0.03		
33年目	R 45	4%	0.2253	107.1			0.13	0.03		
34年目	R 46	4%	0.2166	107.1			0.13	0.03		
35年目	R 47	4%	0.2083	107.1			0.13	0.03		
36年目	R 48	4%	0.2003	107.1			0.13	0.03		
37年目	R 49	4%	0.1926	107.1			0.13	0.03		
38年目	R 50	4%	0.1852	107.1			0.13	0.02		
39年目	R 51	4%	0.1780	107.1			0.13	0.02		
40年目	R 52	4%	0.1712	107.1			0.13	0.02		
41年目	R 53	4%	0.1646	107.1			0.13	0.02		
42年目	R 54	4%	0.1583	107.1			0.13	0.02		
43年目	R 55	4%	0.1522	107.1			0.13	0.02		
44年目	R 56	4%	0.1463	107.1			0.13	0.02		
45年目	R 57	4%	0.1407	107.1			0.13	0.02		
46年目	R 58	4%	0.1353	107.1			0.13	0.02		
47年目	R 59	4%	0.1301	107.1			0.13	0.02		
48年目	R 60	4%	0.1251	107.1			0.13	0.02		
49年目	R 61	4%	0.1203	107.1	-3.64	-0.44	0.13	0.02		
合計					110.61	117.37	6.49	2.38	0.00	0.00
単純事業費計					114.25		6.49		0.00	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:国道286号(支倉工区)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	社会的 割引率	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
					単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
－14年目	H 28	4%	1.4233	100.2						
－13年目	H 29	4%	1.3686	100.5						
－12年目	H 30	4%	1.3159	100.4						
－11年目	R 1	4%	1.2653	101.2						
－10年目	R 2	4%	1.2167	101.9						
－9年目	R 3	4%	1.1699	101.8						
－8年目	R 4	4%	1.1249	102.7						
－7年目	R 5	4%	1.0816	107.1						
－6年目	R 6	4%	1.0400	107.1						
－5年目	R 7	4%	1.0000	107.1						
－4年目	R 8	4%	0.9615	107.1	12.896	12.40				
－3年目	R 9	4%	0.9246	107.1	23.129	21.38				
－2年目	R 10	4%	0.8890	107.1	8.981	7.98				
－1年目	R 11	4%	0.8548	107.1	1.816	1.55				
供用開始年次	R 12	4%	0.8219	107.1			0.13	0.11		
1年目	R 13	4%	0.7903	107.1			0.13	0.10		
2年目	R 14	4%	0.7599	107.1			0.13	0.10		
3年目	R 15	4%	0.7307	107.1			0.13	0.09		
4年目	R 16	4%	0.7026	107.1			0.13	0.09		
5年目	R 17	4%	0.6756	107.1			0.13	0.09		
6年目	R 18	4%	0.6496	107.1			0.13	0.08		
7年目	R 19	4%	0.6246	107.1			0.13	0.08		
8年目	R 20	4%	0.6006	107.1			0.13	0.08		
9年目	R 21	4%	0.5775	107.1			0.13	0.07		
10年目	R 22	4%	0.5553	107.1			0.13	0.07		
11年目	R 23	4%	0.5339	107.1			0.13	0.07		
12年目	R 24	4%	0.5134	107.1			0.13	0.07		
13年目	R 25	4%	0.4936	107.1			0.13	0.06		
14年目	R 26	4%	0.4746	107.1			0.13	0.06		
15年目	R 27	4%	0.4564	107.1			0.13	0.06		
16年目	R 28	4%	0.4388	107.1			0.13	0.06		
17年目	R 29	4%	0.4220	107.1			0.13	0.05		
18年目	R 30	4%	0.4057	107.1			0.13	0.05		
19年目	R 31	4%	0.3901	107.1			0.13	0.05		
20年目	R 32	4%	0.3751	107.1			0.13	0.05		
21年目	R 33	4%	0.3607	107.1			0.13	0.05		
22年目	R 34	4%	0.3468	107.1			0.13	0.05		
23年目	R 35	4%	0.3335	107.1			0.13	0.04		
24年目	R 36	4%	0.3207	107.1			0.13	0.04		
25年目	R 37	4%	0.3083	107.1			0.13	0.04		
26年目	R 38	4%	0.2965	107.1			0.13	0.04		
27年目	R 39	4%	0.2851	107.1			0.13	0.04		
28年目	R 40	4%	0.2741	107.1			0.13	0.04		
29年目	R 41	4%	0.2636	107.1			0.13	0.03		
30年目	R 42	4%	0.2534	107.1			0.13	0.03		
31年目	R 43	4%	0.2437	107.1			0.13	0.03		
32年目	R 44	4%	0.2343	107.1			0.13	0.03		
33年目	R 45	4%	0.2253	107.1			0.13	0.03		
34年目	R 46	4%	0.2166	107.1			0.13	0.03		
35年目	R 47	4%	0.2083	107.1			0.13	0.03		
36年目	R 48	4%	0.2003	107.1			0.13	0.03		
37年目	R 49	4%	0.1926	107.1			0.13	0.03		
38年目	R 50	4%	0.1852	107.1			0.13	0.02		
39年目	R 51	4%	0.1780	107.1			0.13	0.02		
40年目	R 52	4%	0.1712	107.1			0.13	0.02		
41年目	R 53	4%	0.1646	107.1			0.13	0.02		
42年目	R 54	4%	0.1583	107.1			0.13	0.02		
43年目	R 55	4%	0.1522	107.1			0.13	0.02		
44年目	R 56	4%	0.1463	107.1			0.13	0.02		
45年目	R 57	4%	0.1407	107.1			0.13	0.02		
46年目	R 58	4%	0.1353	107.1			0.13	0.02		
47年目	R 59	4%	0.1301	107.1			0.13	0.02		
48年目	R 60	4%	0.1251	107.1			0.13	0.02		
49年目	R 61	4%	0.1203	107.1	-3.64	-0.44	0.13	0.02		
合 計					43.18	42.88	6.49	2.38	0.00	0.00
単純事業費計					46.82		6.49		0.00	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

年次	年度 (基準年)	総走行台数の年次別伸び率 (南東北ブロック)				社会的 割引率				GDP デフレータ				走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				合計 (億円)			
		乗用車類		普通貨物 全車		(A)		乗用車類		普通貨物		(1)		現在価値 ①×(A)		現在価値 ②		現在価値 ③		事故減少便益(億円)		現在価値 ③×(A)		便益合計 (①~③)	
		乗用開始台数	R7 12.0	99607 0.98104	1.00899 0.99612	4%	0.8219	107.1	3.38	0.86	2.86	7.07	5.59	0.01	0.02	0.25	0.28	0.23	0.006	0.005	0.005	0.006	0.005	7.36	5.82
1年目	R 13	0.99408	1.00896	1.00886	0.99562	4%	0.7903	107.1	3.36	0.85	2.88	7.07	5.37	0.01	0.02	0.26	0.28	0.22	0.006	0.005	0.005	0.006	0.005	7.36	5.59
2年目	R 14	0.99404	1.00892	1.00878	0.99560	4%	0.7599	107.1	3.34	0.85	2.91	7.06	5.16	0.01	0.02	0.26	0.28	0.21	0.006	0.004	0.004	0.006	0.004	7.36	5.38
3年目	R 15	0.99400	1.00880	1.00871	0.99558	4%	0.7307	107.1	3.32	0.84	2.93	7.06	4.96	0.01	0.02	0.26	0.28	0.20	0.006	0.004	0.004	0.006	0.004	7.36	5.17
4年目	R 16	0.99397	1.00867	1.00863	0.99557	4%	0.7026	107.1	3.30	0.83	2.93	7.06	4.77	0.01	0.02	0.26	0.28	0.19	0.006	0.004	0.004	0.006	0.004	7.35	4.97
5年目	R 17	0.99393	1.00854	1.00856	0.99555	4%	0.6756	107.1	3.28	0.82	2.96	7.06	4.58	0.01	0.02	0.27	0.29	0.18	0.006	0.004	0.004	0.006	0.004	7.35	4.77
6年目	R 18	0.99389	1.00841	1.00848	0.99553	4%	0.6496	107.1	3.26	0.81	2.98	7.05	4.39	0.01	0.02	0.27	0.29	0.17	0.006	0.004	0.004	0.006	0.004	7.35	4.59
7年目	R 19	0.99386	1.00827	1.00841	0.99551	4%	0.6246	107.1	3.24	0.80	3.01	7.05	4.23	0.01	0.02	0.27	0.30	0.16	0.006	0.004	0.004	0.006	0.004	7.35	4.41
8年目	R 20	0.99382	1.00813	1.00834	0.99549	4%	0.6006	107.1	3.22	0.79	3.03	7.04	4.06	0.01	0.02	0.27	0.30	0.15	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.34	4.24
9年目	R 21	0.99378	1.00879	1.00827	0.99546	4%	0.5775	107.1	3.20	0.78	3.06	7.04	3.91	0.01	0.02	0.27	0.30	0.14	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.34	4.08
10年目	R 22	0.99374	1.00874	1.00821	0.99544	4%	0.5553	107.1	3.18	0.77	3.08	7.03	3.74	0.01	0.02	0.27	0.30	0.13	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.34	3.90
11年目	R 23	0.99370	1.00870	1.00869	0.99541	4%	0.5339	107.1	3.15	0.77	3.08	7.00	3.57	0.01	0.02	0.27	0.30	0.12	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.32	3.73
12年目	R 24	0.99365	1.00860	1.00871	0.99536	4%	0.5134	107.1	3.12	0.76	3.08	6.96	3.42	0.01	0.02	0.27	0.30	0.11	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.23	3.57
13年目	R 25	0.99360	1.00857	1.00869	0.99526	4%	0.4936	107.1	3.09	0.75	3.08	6.92	3.27	0.01	0.02	0.27	0.30	0.10	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.19	3.41
14年目	R 26	0.99354	1.00853	1.00869	0.99525	4%	0.4746	107.1	3.06	0.75	3.08	6.89	3.13	0.01	0.02	0.27	0.30	0.09	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.16	3.21
15年目	R 27	0.99351	1.00853	1.00869	0.99524	4%	0.4564	107.1	3.03	0.74	3.08	6.85	3.08	0.01	0.02	0.27	0.30	0.08	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.16	3.13
16年目	R 28	0.99352	1.00850	1.00869	0.99523	4%	0.4388	107.1	3.00	0.73	3.08	6.82	2.99	0.01	0.02	0.27	0.30	0.07	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.12	3.11
17年目	R 29	0.99351	1.00848	1.00869	0.99523	4%	0.4220	107.1	2.97	0.73	3.08	6.78	2.86	0.01	0.02	0.27	0.30	0.06	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.08	2.99
18年目	R 30	0.99350	1.00843	1.00869	0.99522	4%	0.4057	107.1	2.94	0.72	3.08	6.74	2.74	0.01	0.02	0.27	0.30	0.05	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.05	2.86
19年目	R 31	0.99349	1.00842	1.00869	0.99522	4%	0.3901	107.1	2.91	0.71	3.08	6.71	2.62	0.01	0.02	0.27	0.30	0.04	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	7.01	2.74
20年目	R 32	0.99348	1.00845	1.00869	0.99522	4%	0.3751	107.1	2.88	0.71	3.08	6.67	2.50	0.01	0.02	0.27	0.30	0.03	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.97	2.62
21年目	R 33	0.99347	1.00847	1.00869	0.99521	4%	0.3607	107.1	2.85	0.70	3.08	6.63	2.39	0.01	0.02	0.27	0.30	0.02	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.94	2.50
22年目	R 34	0.99346	1.00846	1.00869	0.99520	4%	0.3468	107.1	2.82	0.70	3.08	6.60	2.29	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.90	2.39
23年目	R 35	0.99345	1.00845	1.00869	0.99519	4%	0.3335	107.1	2.79	0.69	3.08	6.56	2.19	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.86	2.29
24年目	R 36	0.99344	1.00844	1.00869	0.99518	4%	0.3207	107.1	2.76	0.68	3.08	6.53	2.09	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.83	2.19
25年目	R 37	0.99343	1.00843	1.00869	0.99517	4%	0.3083	107.1	2.73	0.68	3.08	6.49	2.00	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.79	2.09
26年目	R 38	0.99342	1.00842	1.00869	0.99516	4%	0.2965	107.1	2.70	0.67	3.08	6.45	1.91	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.76	2.00
27年目	R 39	0.99340	1.00840	1.00869	0.99515	4%	0.2851	107.1	2.68	0.66	3.08	6.42	1.83	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.72	1.92
28年目	R 40	0.99339	1.00838	1.00869	0.99514	4%	0.2741	107.1	2.65	0.66	3.08	6.38	1.75	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.68	1.83
29年目	R 41	0.99339	1.00837	1.00869	0.99513	4%	0.2636	107.1	2.62	0.65	3.08	6.34	1.67	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.65	1.75
30年目	R 42	0.99337	1.00836	1.00869	0.99512	4%	0.2534	107.1	2.59	0.65	3.08	6.31	1.60	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.61	1.67
31年目	R 43	0.99334	1.00835	1.00869	0.99511	4%	0.2437	107.1	2.56	0.64	3.08	6.27	1.53	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.57	1.60
32年目	R 44	0.99330	1.00830	1.00869	0.99510	4%	0.2343	107.1	2.53	0.63	3.08	6.24	1.46	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.54	1.53
33年目	R 45	0.99327	1.00829	1.00869	0.99509	4%	0.2253	107.1	2.50	0.62	3.08	6.20	1.40	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.50	1.46
34年目	R 46	0.99318	1.00828	1.00869	0.99508	4%	0.2166	107.1	2.47	0.62	3.08	6.16	1.33	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.46	1.40
35年目	R 47	0.99317	1.00827	1.00869	0.99507	4%	0.2083	107.1	2.44	0.61	3.07	6.13	1.28	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.43	1.34
36年目	R 48	0.99314	1.00824	1.00869	0.99506	4%	0.2003	107.1	2.41	0.61	3.07	6.09	1.22	0.01	0.02	0.27	0.30	0.01	0.006	0.003	0.003	0.006	0.003	6.39	1.28
37年目	R 49	0.99310	1.00820	1.00869	0.99505	4%	0.1926	107.1	2.38	0.60	3.07	6.05	1.17	0.01	0.02	0									